三根中学校だより　第８号　　令和８年１０月２８日　　校長　山﨑康隆

誇り高き三根中生へ ―自主・自律・寛容の心とともに―

○ 学校安全総合支援事業

学校だより第６号でもお知らせしましたが、今年度、三根校区は県教育委員会から「学校安全総合支援事業」のモデル地域に指定されています。三根中学校を拠点として、小学校や地域、関係機関と連携しながら、防災・安全教育の充実に取り組んでいます。

１０月７日（水）、みやき町総務部防災課及び佐賀災害支援プラットフォームの皆様を講師としてお招きし、防災学習を実施しました。





みやき町総務部防災課からは、令和３年８月豪雨における町内の被害状況やハザードマップの見方について、グループワークを交えながら学びました。また、佐賀災害支援プラットフォームからは、災害発生時の避難行動について講話をいただきました。学校にいる際に大雨が発生した場合、必ずしも自宅へ帰ることが最善とは限らず、その時々の状況に応じて安全な行動を選択することの大切さを学びました。



講話の後には、グラウンドで土のうづくりを体験しました。生徒たちは実際に土のうをつくる活動を通して、地域の防災に貢献する意識を高めることができました。

なお、保護者や地域の皆様にも活用していただけるよう、グラウンド西側入口付近に「土のうステーション」を設置しています。大雨等による災害時に必要な場合は、ご利用ください。

○ 文化発表会

１０月２３日(金)、文化発表会を開催しました。平日にも関わらず、多数の保護者、地域の皆様にご来校いただきました。



吹奏楽部のオープニングで盛り上がってスタートしました。



１年生の発表「時空を旅する白石焼」では、ふるさとの文化や歴史を題材にしながら、白石焼の魅力を分かりやすく伝えてくれました。初めての文化発表会とは思えない堂々とした演技から、１年生の元気さとチームワークを感じることができました。



２年生の劇「あの日の決断。未来へつなぐ命のバトン」では、災害時にどのような判断や行動が命を守ることにつながるのかを、分かりやすく表現してくれました。防災について学んだことを生かした、メッセージ性のある発表でした。



３年生の劇「うさみくんのお姉ちゃん」で

は、登場人物の心の動きや人との関わりが豊かに表現され、さすが最高学年と思わせる演技力でした。笑いあり、感動ありの内容で、会場全体を作品の世界へと引き込んでくれました。





１年生の合唱は、入学から半年が過ぎ、１年生らしいまっすぐで伸びやかな歌声を聴かせてくれました。



２年生の合唱は、力強さの中にも美しいハーモニーがあり、一人ひとりの声が支え合い、響き合って、学級の絆と成長を感じました。



３年生は、最高学年としての豊かな表現力と心のこもった歌声で観客を魅了しました。学年合唱「３月９日」からは、仲間との絆やこれまでの成長が感じられ、会場は大きな感動に包まれました。







展示発表では、国語、社会、理科、美術、家庭科、総合的な学習の時間などで取り組んだ作品やまとめが数多く展示されました。３年生の修学旅行、２年生の職場体験、１年生の LABO 研修のまとめは、一人一人がどのような体験をし、何を考え、何を感じたのかが具体的に書かれており、感心しました。同じ活動に参加していても、感じ方や学び方は一人一人違います。その違いが表れていて、とても興味深く見ることができました。





また、美術の作品や白石焼の作品からは、それぞれの個性やアイデアがあふれていました。同じ題材でも表現の仕方は人によって違い、その人らしさがよく表れていました。



家庭科の「弁当の日」の取組では、自分で弁当を作ったことで、普段当たり前のように食事を準備してくれている家族の苦労やありがたさに気付いたという感想も見られました。



さらに、書き方会や作品展で入賞した作品も展示されていました。どの作品も、作者が時間をかけて工夫し、努力を積み重ねてきたことが伝わってくるすばらしい出来でした。



